

令和5年度職員提案 採用提案一覧(19件)

管理番号	提案タイトル	提案内容
2023005	各階のごみスペースに資源ごみ分別表を貼り出してはどうでしょう	市民に配布されている「資源ごみの分別」では、再生可能な包装紙は分別することになっていますが、市役所本庁舎各フロアのごみカゴには菓子箱等の再生可能包装紙も一律「燃えるゴミ」のカゴに入れられていることがあります。 「資源ごみの分別」はあくまで家庭ごみを対象としたものではありませんが、庁舎各フロアは市民の目につく場所でもありますので、市民に呼び掛けている分別基準に合わせた対応ができるとよいのではないかと感じます。 そこで、「資源ごみの分別」の分別表を簡略化拡大化してカゴのそばに貼り出し、また、入れるべきゴミをカゴの表面にイラストで示す等して分別を推進してはどうでしょうか。 来庁者もごみを捨てることがありますから、捨て方が分かりやすくなる点で市民サービスの向上や、環境に配慮する市としてのイメージアップにもつながると思います。
2023010	庁内及び議員向け紙冊子の廃止	各課で作成し、庁内及び議員に配布している紙の冊子（統計概要等）について、紙の使用量などを削減するためにこれらを原則廃止する。庁内向けには、代替措置としてgotokuにフォルダ「電子図書館（仮）」（デジタル戦略課所管）を作成し、冊子を作成した課はPDFファイルをそこに保存して、全庁メールでそのことを周知する。管理は、冊子名、所管課係名、内線番号、1行の説明文を備えたExcelで行い、職員が全庁横断的にデータへアクセスしやすい環境を整える。元データ（Excelなど）の使用や紙冊子の希望に対しては所管課や印刷室がその都度対応する。議員に対しては、ホームページでの電子ファイル公開、あるいはタブレット端末を支給しそちらにデータを保存する形で対応する。なお、県央の統計担当で意見交換をしたところ、議員向けの資料は、統計冊子だけではなく議案等とあわせて、タブレット端末で対応している市がほとんどであった。
2023013	地元野菜を積極活用する飲食店への認証制度をつくっては	たとえば、以下の様な取組は地域農業に貢献すると思います。 【実施イメージ（例）】 ◆地元野菜使用メニューを提供する市内飲食店を「地元野菜が食べられる店」として認証 ◆認証店に以下依頼 ・店舗での農業情報（援農サポーターや朝霧市等チラシ）の配架 ・地元野菜レシピの開発提供 ◆レシピ集や認証店一覧を施設や朝市で配布 ◆認証店のインセンティブ ・認証店としての宣伝効果 ・（可能であれば）野菜仕入れの優遇 【メリット】 ◆市のイメージアップ ・地産地消で地域の魅力増進 ・新鮮野菜の「食」で健康都市推進に貢献 ・消費喚起で地域活性化 ◆他 ・農業の認知度向上→援農者増、地元野菜のブランド性向上と販促 【備考】 ◆他に「野菜が買える店」の認証も考えられる ◆対象店舗への野菜安定供給が課題であれば、地区限定等、小規模での試験的实施も考えられると思います。

管理番号	提案タイトル	提案内容
2023024	公用車貸出用パソコンの配置	公用車を予約し、早めに利用が終わった場合に予約が入っているため使えない状況が発生していると考えられる。公用車貸出用パソコンを公用車貸出窓口に設置し、利用後1時間以上余った時間がある場合は、利用終了時刻をその場で変更し、他の人が使えるように予約内容を修正することを徹底する。
2023025	契約書に盛り込む文書等のチェックリスト作成	<p>今年（令和5年）6月22日に、「委託業務仕様書への追記事項について（依頼）」という文書が発出されました。これは、受注者に対する指導・監督に関する定型文の追記を依頼するものですが、契約書には、この他にも個人情報、情報資産、環境、各種条例など、各業務を所管する部門から、様々な内容の文書や文言を盛り込むように要請されています。</p> <p>しかし、契約事務に関する庁内の研修資料等には、それらを網羅的に示した資料がなく、大和市の契約書類として、何を盛り込むべきかをまとめたものが存在しない（あるいは契約事務を担当する職員が個人的に知っている）という状態になっているのではないかと思います。</p> <p>不慣れな職員でも、それらを容易に確認できるチェックリストを作成してはどうでしょうか。総務担当課や契約事務に関わる職員の業務ツールとしても役に立つのではないかと思います。</p>
2023026	私用携帯電話の着信音を抑える	<p>様々な着信音が鳴ることや、着信した時に飛び出すように自席を離れる職員がいると、少なからず、周辺の職員に影響を及ぼしているように思います。</p> <p>家庭の事情等で常時連絡が取れるようにしておく必要がある方がいることなどを考えると、執務中に使用の携帯電話を制限することは難しいと思いますが、せめて着信音は控えめにする、できればマナーモードを推奨することを提案します。</p>
2023031	ポロシャツの裾を出して快適に	<p>昨年（令和4年）10月25日に、「働きやすい服装による勤務の実施について」という総務部長通知が発出され、その中に注意点として、</p> <p>「ポロシャツ等の裾は外に出さずに着用してください」</p> <p>という記載がありますが、実際には、ポロシャツの裾を外に出して着用している職員を多く見かけます。</p> <p>衣服の快適性に関する研究では、衣服内気候（被服内気候）という考え方があり、その中では、衣服の中に風を通すことも重要であるとされているそうです。</p> <p>風通しの良い素材の服を選んで着用することで、通気性をよくする方法もありますが、新たに服を購入しなくても、ポロシャツの裾を出して着用すれば、衣服内の風の通り道が増え、快適性も増します。</p> <p>快適な執務環境づくりのため、現状を追認していただきたいと思います。</p>

管理番号	提案タイトル	提案内容
2023036	職員動員後のアンケートの制度化	<p>イベントや選挙等、多くの職員が動員される機会がありますが、動員職員として満足な働きができなかったのではないかと感じることも経験します。</p> <p>自分の力不足を反省する一方で、動員する側にも、改善をしてもらいたいと思うときがあります。</p> <p>そこで、動員職員に対し、気が付いた点、改善点をアンケートで聞くことを制度化してはどうか、という提案をします。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前の情報提供は適切だったか ・配布されたマニュアルの誤りや不明点 ・人数の配置や、業務時間・拘束時間は適切か ・事務局や他の職員との連携 ・来場者等から受けた問合せや苦情 <p>などを紙面やアンケートシステムで集めるというものです。</p> <p>動員職員が目線で業務内容や手順を評価してもらい、今後に生かすことも有意義だと思います。</p> <p>アンケート結果や、それを踏まえた改善点の公表まで行われると、さらに有効と考えます。</p>
2023037	提案者の匿名希望の選択肢を3つにする提案	<p>現在、提案者の氏名公表の選択は、提案の提出時に、匿名を希望する場合に「匿名を希望します。」の欄にチェックをつけるようになっていますが、</p> <p>この選択肢を</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 匿名の提案として提出する 2. 所属長への公表のみ希望する 3. 公表する <p>の3つにしてはどうか、という提案です。</p> <p>「提案を行ったこと自体は、市の業務に関することへの参画として評価してもらいたいが、提案者の氏名の公表は希望しない」というケースへの対応を想定しています。</p> <p>これは、過去に、私の提案が採用され、氏名が公表された際に、「提案によって余計な仕事を増やしている」という内容の批判を受けた経験があることから、提案する職員の心理的安全性を確保していただきたく、今回提案するものです。</p>

管理番号	提案タイトル	提案内容
2023039	参加者アンケートへの電子申請システム積極活用	<p>近年、本市では電子申請システムの活用が増えていますが、イベント、講習会その他催しの参加者アンケートでの利用は少ないように思います。そこで、参加者アンケートについても、従来の紙に加えて電子申請システムの積極利用を呼び掛けてはどうでしょうか。</p> <p>【アンケート実施のイメージ】 回答者（市民）は、貼り出された、あるいは紙のアンケート用紙に記載のQRコードをスマホで読み取り、電子申請から回答</p> <p>【メリット】</p> <p>◆ 回答者側 特に屋外イベント等では、平らな場所を見つけて紙に記入することが大変で、スマートフォンによる入力の方が楽。記載板やペンの返却、所定場所への用紙提出も不要</p> <p>◆ 市側</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自課もしくは他課作成のアンケートを複製、修正することで簡単に作成可能 ・ 回答を一括でCSV出力できるので、紙よりも正確迅速に集計可能。参加者数が多いほど効果大。 ・ ペーパーレス化で省資源、経費節約となる
2023042	デスクネットの閲覧・レポート機能の周知	<p>現在、スポーツ課では印刷や押印の必要のないメールはデスクネットの閲覧・レポート機能を使用し、パソコン上で各自閲覧しています。</p> <p>印刷する用紙や時間が削減され、さらには、課内職員間で閲覧物が回ってくるラグが減ります。</p> <p>他課の導入状況はわかりませんが、庁内に周知し全庁で使われるようになれば、かなりの経費削減につながると思います。</p>
2023070	市本庁舎など公共施設でのキッチンカー販売	<p>市内飲食店・キッチンカー事業者への出店機会の提供や職員のモチベーションアップになるほか、地域経済の活性化や産業振興が図れると考え提案します。</p> <p>キッチンカー販売は藤沢市（週3日、1回3件）のように定期的な出店が望ましく週1回から2～3回と増やします。古谷田市長「世代交代を目指す50の政策」に『ゆとりの森にキッチンカーやコーヒーチェーンを誘致』とありますが、市ケータリング協会や飲食業組合等と連携しても良さそうです。場所は本庁舎東側駐車場とし、地下食堂跡と中庭に簡易的なテーブルと椅子を設置。SDGsの観点から食器が望ましいが使い捨て容器とします。ここではごみの分別回収を促すほか、ごみ箱に環境問題や市の事業を表示することで、SDGsや市政PRになると考えます。ある程度の集客が図れれば、大和市で新規出店を目指している若手事業主の出店や、これを機に流入人口増というように夢は大きく広がると思われれます。</p>
2023071	やまとスポーツネットワーク（仮称）設立と事業展開	<p>大和市には、大和市に住んでいたたり、大和市に縁のある、様々なスポーツ種目の日本代表経験者、トップアスリート、トップレベルの指導者がいます。こういった方々の協力を得て「やまとアスリートネットワーク（仮称）」を創設してはいかがでしょうか。</p> <p>事業イメージとしては、登録いただいた方には、市内の子どもたち向けにスポーツ教室を開いたり、市内企業で講演を行っていただくいたり、大和市内で、それぞれの経験などを還元いただく機会を設けます。アスリート側にとっても、地域から応援される環境は喜ばれると思いますし、地域の子どもたちにとってもアスリートからスポーツを教えてらもう環境は、教育的にも良い取り組みになると考えます。</p> <p>組織を作るだけでなく、しっかりと事業展開していくことも視野に、事務局を外部委託にしたり、外部団体と連携したりすることで、地域の取り組みとできれば、市のイメージアップにつながると思います。</p>

管理番号	提案タイトル	提案内容
2023090	市の広報や通知、案内などの問い合わせ先の電話番号を市外局番から表記する	<p>市が発行する広報紙や通知、案内チラシなどの問い合わせ先の電話番号について、市外局番が省略されていることが多く見受けられますが、以下の理由から、市外局番から表記することが適切であると考えます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 必ずしも市民だけが見て問い合わせをするわけではない <ul style="list-style-type: none"> ・市内在勤者向けの事業や案内もある ・大和市に住む親の手続き等で市外の親族が問い合わせることもある 加入電話からの電話がすべてではない <ul style="list-style-type: none"> ・加入電話の加入率は毎年減少しており、総務省によれば全国で6割程度。都市部ほどその割合は低いと考えられる。つまり、固定電話以外の携帯電話等からの架電も多く、その際は市外局番からダイヤルする必要がある。 <p>紙面の文字数の都合等もあるとは思いますが、市外局番から表記してあげるのが市民に対して親切であると考えます。</p>
2023091	電話受付メモのペーパレス化	<p>不在者宛ての受電時、紙の電話受付メモを使用せずに、「デスクネット」にある「伝言・所在」機能を全庁的に活用することを提案します。（パソコンを使用する課のみ）</p> <p>執務中、不在者宛ての受電をした際、メモ用紙（電話受け付けメモ）に聞き取った内容を記録し、担当者のデスクに置くといった運用を、多くの課で日常的に行われ、これにより全庁的に多くの紙が使用されていると推測されます。また、メモには連絡先等の個人情報や、伝言内容によっては取扱注意の情報も記載されていることから、万が一紛失された際は、流出のリスクが伴います。当該機能を活用することにより、紙の削減はもちろんのこと、メモの紛失による個人情報流出といったリスクも回避することが期待できます。加えて、電子記録として残ることから、問い合わせ内容や架電者情報についても、容易に振り返ることが可能であるため、業務効率化に繋がることも期待できます。</p>
2023092	市のトップページにおける、災害危機や医療救急に関する情報の掲載方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・提案概要 市のトップページから災害の情報や救急に関する情報を閲覧する場合、「もしものとき」と書かれたアイコンを選択し、その先にある「災害危機」と「救急医療」のどちらかを選び、更にその先の各項目を選択する構成になっています。この「もしものとき」というアイコンを「災害危機・救急医療」というタイトルに変更するか、「災害危機」と「救急医療」の2つのアイコンを直接トップページに掲載することを提案いたします。 ・提案理由 他の情報と違い、災害や救急に関する情報を閲覧する方は、急いでいるだけでなく、落ち着けない状態で情報を探している可能性があります。そのような方の気持ちに立ってトップページを見た場合、「もしものとき」という表現ではなく、より直接的なものが望ましいと考えました。また、このような情報を得るまでのクリック数についても、より少なくあるべきだと考えます。以上です。ご検討願います。
2023094	請求書等に係る押印の見直しについて	<p>請求書等に係る押印の見直しを提案します。</p> <p>令和2年7月7日付 総務省自治行政局長 総行行第169号 総行経第35号 地方公共団体における書面規制、押印、対面規制の見直しについて</p> <p>が出ていますが、当市においては現在も請求書等様々な書類への押印を求めています。押印が必要なことで、電子提出が不可能となり、市民及び事業者への負担が大きくなっていることから廃止を提案します。</p>

管理番号	提案タイトル	提案内容
2023100	本庁舎における昼休み時間に利用する階段の制限について	<p>大和市では原則的に休憩時間が同一時間となるため、正午のチャイムが鳴ってから10分程度は多くの職員が昼食をとるために中央階段を下りてくる。その人の流れはすさまじく、2階などに上がろうとする市民が、階段横で流れが切れるのを待つ状況をよく目撃します。</p> <p>昼の時間に窓口開設している部署もある中、目的地に市民がたどり着くうえで不便な時間があることに疑問を持っております。そこで、昼食時に1階に降りる場合は、中央階段の利用を制限し、市民の利用がほぼない西側と東側階段を利用することを提案します。小さいことではありますが、こういう配慮が市民の市に対するイメージアップにつながると思い提案しました。</p>
2023105	共通封筒へのQRコード印刷について	<p>本市は今年度より「大和市LINE公式アカウント」による市民生活に役立つ11分野の情報メニューを用意し、登録者がより多くの市政情報を受け取れるサービス開始しましたが、広く市民に情報が行き届いていないように思われます。</p> <p>大和市の魅力を市内外に積極的に配信するためにも、様々な媒体のひとつに共通封筒があります。契約検査課で配布している共通封筒に大和市LINE公式アカウントのQRコードを印刷することにより、市政情報のPRにつなげてはどうでしょうか！</p>